



## **E** シリーズシステムの詳細をご確認ください E-Series storage systems

NetApp  
March 12, 2026

# 目次

E シリーズシステムの詳細をご確認ください	1
Eシリーズの用語を確認する	1
Eシリーズハードウェアの詳細	3
Eシリーズセルフタイプの詳細	10
SANtricityソフトウェアの詳細	11
SANtricity システムマネージャ	12
SANtricity Unified Manager の略	13
SANtricity Web Services Proxy の略	15
コマンドラインインターフェイス (CLI)	15
Eシリーズのデモビデオにアクセス	15
E シリーズ：高速、シンプル、信頼性に優れたストレージ	15
System Manager：簡単なセットアップと設定	16

# E シリーズシステムの詳細をご確認ください

## Eシリーズの用語を確認する

E シリーズで使用される用語について説明します。

期間	説明
コントローラ	コントローラは、ボード、ファームウェア、ソフトウェアで構成されます。ドライブを制御し、機能を実装します。
デュプレックス/シンプレックス構成	デュプレックスは、ストレージレイ内に 2 台のコントローラモジュールを配置した構成です。シンプレックスは、コントローラモジュールを 1 つだけ配置した構成です。
HDD	ハードディスクドライブ（HDD）は、磁気コーティングを施した金属製の回転式ディスクを使用するデータストレージデバイスです。
HIC	ホストインターフェイスカード（HIC）は、アレイをホストに接続します。コントローラキャニスターにオプションで取り付けることもできます。
IB	InfiniBand（IB）は、ハイパフォーマンスのサーバとストレージシステム間のデータ転送用の通信標準です。
IOPS	IOPS は、1 秒あたりの入出力処理数です。
ミラーリング	ミラーリングは、継続的な可用性を確保するためにデータボリュームを別のストレージレイにレプリケートする機能です。
プール	プールは、論理的にグループ化された一連のドライブです。プールを使用して、ホストにアクセス可能な 1 つ以上のボリュームを作成することができます。
電源 / ファンキャニスター	電源 / ファンキャニスターは、シェルフに搭載されるアセンブリです。電源装置と一体型ファンで構成されます。
ラックユニット（U）	1 ラックユニット（省略形は U）は、44.50mm（1.75 インチ）と定義されています。

期間	説明
( SAS ) 。	Serial Attached SCSI ( SAS ) は、コントローラをディスクドライブに直接リンクするポイントツーポイントのシリアルプロトコルです。
RoCE	RDMA over Converged Ethernet ( RoCE ) は、イーサネットネットワークを介したリモートダイレクトメモリアクセス ( RDMA ) を可能にするネットワークプロトコルです。
シェルフ	シェルフは、キャビネットまたはラックに設置されるエンクロージャです。ストレージアレイのハードウェアコンポーネントを収容します。シェルフには、コントローラシェルフとドライブシェルフの2種類があります。コントローラシェルフは、コントローラとドライブを収容します。ドライブシェルフは、入出力モジュール ( IOM ) とドライブを収容します。
スナップショット	Snapshot イメージは、ボリュームのデータを特定の時点でキャプチャした論理コピーです。リストアポイントと同様に、Snapshot イメージを使用して既知の正常なデータセットにロールバックできます。
SSD の場合	ソリッドステートディスク ( SSD ) は、ソリッドステートメモリ ( フラッシュ ) を使用してデータを永続的に格納するデータストレージデバイスです。SSD は従来のハードドライブをエミュレートしたものであり、ハードドライブと同じインターフェイスで利用できます。
ストレージアレイ	ストレージアレイは、シェルフ、コントローラ、ドライブ、ソフトウェア、およびファームウェアを収容します。
ボリューム	ボリュームは、アプリケーション、データベース、およびファイルシステムがデータを格納するコンテナです。ホストがストレージアレイのストレージにアクセスするために作成される論理コンポーネントです。
ワークロード	ワークロードは、アプリケーションをサポートするストレージオブジェクトです。一部のアプリケーションについては、特性が似たボリュームで構成されるように System Manager によってワークロードが設定されます。これらのボリューム特性は、ワークロードがサポートするアプリケーションのタイプに基づいて最適化されます。

# Eシリーズハードウェアの詳細

Eシリーズストレージレイには、複数の構成やモデルがあります。

ストレージレイは、シェルフ、コントローラ、ドライブ、ソフトウェア、およびファームウェアを収容します。レイはラックまたはキャビネットに設置でき、1台または2台のコントローラを収容できます。12、24、または60本のドライブを収容できます。ストレージレイは、複数のタイプのインターフェイスからSANに接続できるほか、さまざまなホストオペレーティングシステムに接続できます。

Eシリーズレイには次のモデルがあります。

- E2800 シリーズ - エントリーレベルハイブリッド
- EF280 シリーズ - エントリーレベルオールフラッシュ
- EF300 シリーズ - エントリーレベルのオールフラッシュ、オール NVMe
- E4000 シリーズ - エントリーレベルハイブリッド
- E5700 シリーズ - ミッドレンジハイブリッド
- EF570 シリーズ - ミッドレンジオールフラッシュ
- EF600 シリーズ - ミッドレンジオールフラッシュ、オール NVMe
- EF300C シリーズ - エントリーレベルのオールフラッシュ、オール NVMe
- EF600C シリーズ - ミッドレンジオールフラッシュ、オール NVMe

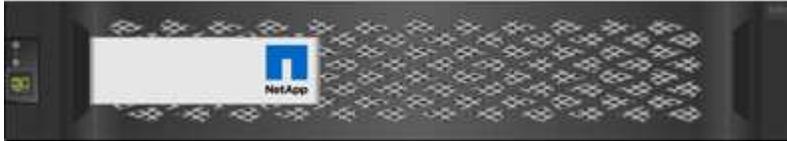


SANtricity OS 11.80GA以降では、E2800、EF280、E5700、EF570、EF600 / EF600C、およびEF300 / EF300Cのレイでは、すべてのUSBポートが無効になります。

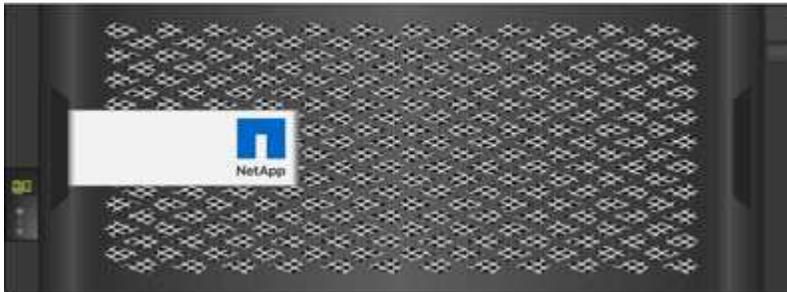
## E2800 モデル

### ラックサイズ

- 2U12 (ラックユニット × 2、ドライブ × 12)
- 2U24 (2 ラックユニット、24 ドライブ)



- 4U60 (4 ラックユニット、60 ドライブ)



### ドライブ

は、次のドライブタイプをサポートしています。

- 3.5 インチ NL-SAS (最大 180 本)
- 2.5 インチ SAS SAS SSD (最大 120 本)
- 2.5 インチ SAS SAS HDD (最大 180 本)

### インターフェイス

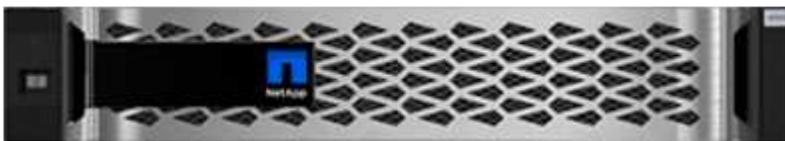
次のインターフェイスで使用できます。

- 12Gb SAS となります
- 10Gb または 25Gb iSCSI です
- 16Gb または 32Gb Fibre Channel

## EF280 モデル

### ラックサイズ

2U24 (2 ラックユニット、24 ドライブ)



## ドライブ

最大 96 本の SSD 2.5 インチドライブをサポートします

## インターフェイス

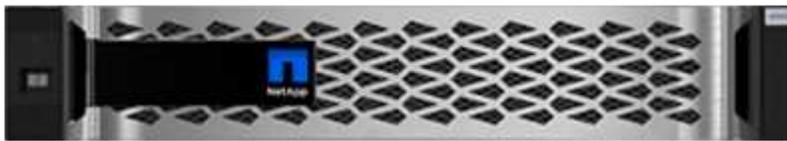
次のインターフェイスで使用できます。

- 12Gb SAS となります
- 10Gb または 25Gb iSCSI です
- 16Gb または 32Gb Fibre Channel

## EF300 モデル

### ラックサイズ

2U24 (2 ラックユニット、24 ドライブ)



## ドライブ

- NVMe SSDドライブ：コントローラシェルフに最大24本のNVMe SSDドライブを搭載できます。
- 拡張シェルフを備えたNL-SASドライブ：DE212CシェルフとDE460Cシェルフを組み合わせても、DE212Cシェルフのみを使用しないかぎり、合計240本のNL-SASドライブスロットと4本の拡張シェルフを超えないようにします。その後、DE212Cシェルフを8台使用できます。たとえば、DE460Cシェルフ4台、DE212Cシェルフ8台、DE460Cシェルフ2台、DE212Cシェルフ2台などです。
- 拡張シェルフを備えたSAS SSDドライブ：DE212C、DE224C、およびDE460Cのシェルフが混在している場合、DE212Cシェルフのみを使用しないかぎりSAS SSDドライブスロット数96と拡張シェルフ4本の合計を超えないようにしてください。DE212Cシェルフを8台使用することも可能です。たとえば、DE460Cシェルフ1台とDE224Cシェルフ1台とDE212Cシェルフ1台、DE224Cシェルフ4台、DE212Cシェルフ8台などです。
- オプションのSAS拡張カードをサポートし、SAS拡張シェルフ接続を可能にします。
- コントローラごとに1つのホストインターフェイスカードがサポートされます。



SANtricity OS 11.80GA以降では、拡張シェルフ構成でベーストレイにドライブを搭載しない構成がサポートされます。この構成を使用する場合は、システムの電源をオンにする前に、ドライブが拡張シェルフに搭載され、ベーストレイに正しく接続されていることを確認してください。

## インターフェイス

次のインターフェイスで使用できます。

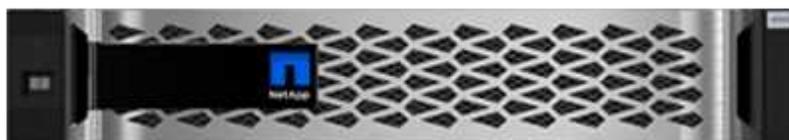
- 25Gb iSCSI です
- 32Gb NVMe/FC チャンネル
- 32GB SCSI/ ファイバチャンネル

- 100Gb iSER/IB
- 100Gb SRP/IB
- 100Gb NVMe/IB
- 100Gb NVMe/RoCE

### EF300C モデル

ラックサイズ

2U24 (2 ラックユニット、24 ドライブ)



### ドライブ

- 30TBまたは60TBの容量NVMe SSDドライブをサポートします。
  - Dynamic Disk Poolsとの互換性は、従来のRAIDはサポートされていません。
- NVMe SSDドライブ：コントローラシェルフに最大24本のNVMe SSDドライブを搭載できます。
  - 拡張シェルフ構成はサポートされません。
- コントローラごとに1つのホストインターフェイスカードがサポートされます。
- システムブート時に未割り当てのドライブが十分でない場合は、単一のディスクプールが自動的に作成されます。

### インターフェイス

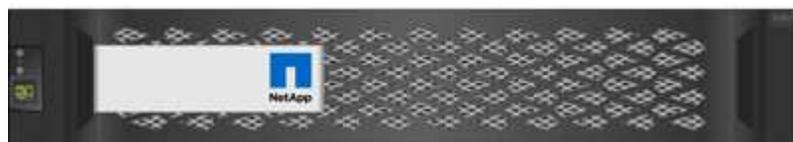
次のインターフェイスで使用できます。

- 25Gb iSCSI です
- 32Gb NVMe/FC チャンネル
- 32GB SCSI/ ファイバチャンネル
- 100Gb iSER/IB
- 100Gb SRP/IB
- 100Gb NVMe/IB
- 100Gb NVMe/RoCE

### E5700 モデル

ラックサイズ

- 2U24 (2 ラックユニット、24 ドライブ)



- 4U60 (4 ラックユニット、60 ドライブ)



### ドライブ

次のドライブタイプを最大 480 本サポート：

- 3.5 インチ NL-SAS
- 2.5 インチ SAS SSD
- 2.5 インチ SAS HDD

### インターフェイス

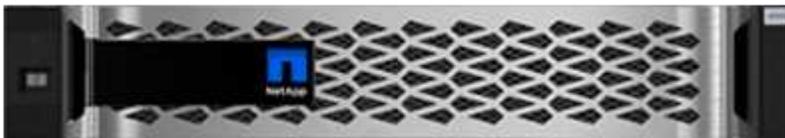
次のインターフェイスで使用できます。

- 12Gb SAS となります
- 10Gb または 25Gb iSCSI です
- 16Gb または 32Gb Fibre Channel
- 32Gb NVMe/FC チャンネル
- 100Gb iSER/IB
- 100Gb SRP/IB
- 100Gb NVMe/IB
- 100Gb NVMe/RoCE

### EF570 モデル

ラックサイズ

2U24 （2 ラックユニット、24 ドライブ）



### ドライブ

最大 120 本の SSD 2.5 インチドライブをサポートします

### インターフェイス

次のインターフェイスで使用できます。

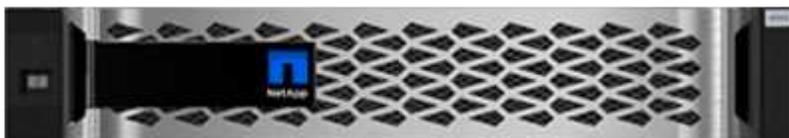
- 12Gb SAS となります
- 10Gb または 25Gb iSCSI です

- 16Gb または 32Gb Fibre Channel
- 32Gb NVMe/FC チャンネル
- 100Gb iSER/IB
- 100Gb SRP/IB
- 100Gb NVMe/IB
- 100Gb NVMe/RoCE

## EF600 モデル

ラックサイズ

2U24 (2 ラックユニット、24 ドライブ)



## ドライブ

- NVMe SSDドライブ：コントローラシェルフに最大24本のNVMe SSDドライブを搭載できます。
- 拡張シェルフを備えたNL-SASドライブ：DE212CシェルフとDE460Cシェルフが混在していても、DE212Cシェルフのみを使用しないかぎり、合計420台のNL-SASドライブスロットと7台の拡張シェルフを超えない場合は、DE212Cシェルフを8台使用できます。たとえば、DE460Cシェルフ7台、DE212Cシェルフ8台、DE460Cシェルフ5台、DE212Cシェルフ2台などです。
- 拡張シェルフを備えたSAS SSDドライブ：DE212C、DE224C、およびDE460Cのシェルフが混在している場合、DE212Cシェルフのみを使用しないかぎりSAS SSDドライブスロット数96と拡張シェルフ7台を超えないようにする必要があります。DE212Cシェルフを使用した場合は、DE212Cシェルフを8台使用できます。たとえば、DE460Cシェルフ1台とDE224Cシェルフ1台とDE212Cシェルフ1台、DE224Cシェルフ4台、DE212Cシェルフ8台などです。
- コントローラごとに2枚のホストインターフェイスカードがサポートされます。
  - または、コントローラ1台につき200Gb IBホストインターフェイスカードを1枚サポートします。
- オプションのSAS拡張カードをサポートし、SAS拡張シェルフ接続を可能にします。
  - SAS拡張は、コントローラごとに1つのホストインターフェイスカードを使用する構成でのみサポートされます。



SANtricity OS 11.80GA以降では、拡張シェルフ構成でベーストレイにドライブを搭載しない構成がサポートされます。この構成を使用する場合は、システムの電源をオンにする前に、ドライブが拡張シェルフに搭載され、ベーストレイに正しく接続されていることを確認してください。

## インターフェイス

次のインターフェイスで使用できます。

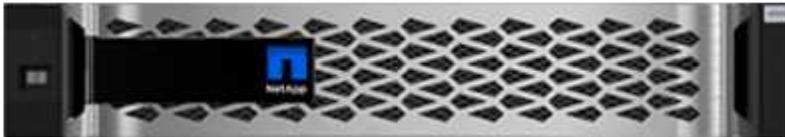
- 25Gb iSCSI です
- 32Gb NVMe/FC チャンネル
- 32GB SCSI/ ファイバチャンネル

- 100Gb iSER/IB
- 100Gb SRP/IB
- 100Gb NVMe/IB
- 100Gb NVMe/RoCE
- 200GB の iSER/IB
- 200Gb NVMe/IB
- 200Gb NVMe/RoCE

#### EF600C モデル

ラックサイズ

2U24 （2 ラックユニット、24 ドライブ）



#### ドライブ

- 30TBまたは60TBの容量NVMe SSDドライブをサポートします。
  - Dynamic Disk Poolsとの互換性は、従来のRAIDはサポートされていません。
- NVMe SSDドライブ：コントローラシェルフに最大24本のNVMe SSDドライブを搭載できます。
- コントローラごとに2枚のホストインターフェイスカードがサポートされます。
  - または、コントローラ1台につき200Gb IBホストインターフェイスカードを1枚サポートします。
  - 拡張シェルフ構成はサポートされません。
- システムブート時に未割り当てのドライブが十分でない場合は、単一のディスクプールが自動的に作成されます。

#### インターフェイス

次のインターフェイスで使用できます。

- 25Gb iSCSI です
- 32Gb NVMe/FC チャンネル
- 32GB SCSI/ ファイバチャンネル
- 100Gb iSER/IB
- 100Gb SRP/IB
- 100Gb NVMe/IB
- 100Gb NVMe/RoCE
- 200GB の iSER/IB
- 200Gb NVMe/IB
- 200Gb NVMe/RoCE

## E4000 モデル

### ラックサイズ

- 2U12 (ラックユニット × 2、ドライブ × 12)



- 4U60 (4 ラックユニット、60 ドライブ)



### ドライブ

は、次のドライブタイプをサポートしています。

- 3.5 インチ NL-SAS (最大 300 本)
- 2.5 インチ SAS SAS SSD (最大 120 本)

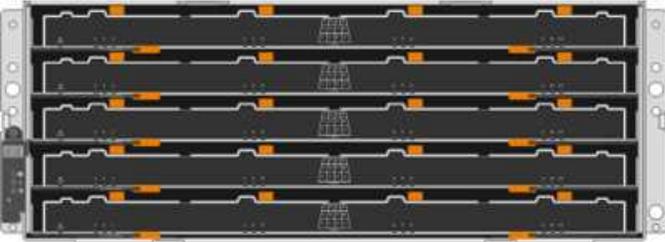
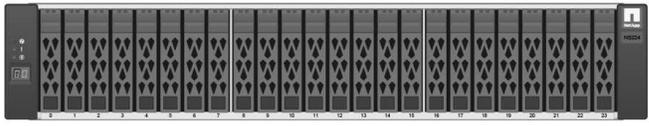
### インターフェイス

次のインターフェイスで使用できます。

- 12Gb SAS となります
- 1 GBまたは10GBASE-T iSCSI
- 1Gb、10Gb、または25Gb iSCSI
- 8Gb、16Gb、または32Gb FC
- 12gb SAS

## Eシリーズシェルフタイプの詳細

E シリーズシステムは、さまざまなシェルフサイズで提供されます。

<p>シェルフタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DE212C : *</li> <li>• 2u12 ( 2 ラックユニット、 12 ドライブ)</li> <li>• 3.5 インチ HDD または 2.5 インチ SSD (アダプタ搭載)</li> <li>• E4000およびE2800コントローラのみ</li> </ul>	<p>☒</p> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>• DE224C : *</li> <li>• 2u24 ( 2 ラックユニット、 24 ドライブ)</li> <li>• 2.5 インチ HDD または 2.5 インチ SSD</li> <li>• E2800、EF280、E5700、EF570 コントローラ</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• DE460C : *</li> <li>• 4u60 ( 4 ラックユニット、 60 ドライブ)</li> <li>• 3.5 インチドライブ、 2.5 インチドライブ (NL-SAS、SAS、SSD)</li> <li>• E4000、E2800、およびE5700コントローラ</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• NE224 : *</li> <li>• 2u24 ( 2 ラックユニット、 24 ドライブ)</li> <li>• 2.5 インチ NVMe SSD</li> <li>• EF300、EF600 : EF300CおよびEF600Cコントローラ</li> </ul>	

## SANtricityソフトウェアの詳細

E シリーズシステムには、ストレージプロビジョニングとその他のタスクを行うための SANtricity ソフトウェアが搭載されています。

SANtricity ソフトウェアは次の管理インターフェイスで構成されています。

- System Manager — ストレージレイ内の 1 台のコントローラの管理に使用する Web ベースのインターフェイス。
- Unified Manager — ネットワーク内のすべてのストレージレイの表示と管理に使用する Web ベースのインターフェイス。
- Web Services Proxy — ネットワーク内のすべてのストレージレイの表示と管理に使用する REST API。
- Command Line Interface (CLI ; コマンドラインインターフェイス) — ストレージレイの設定および監視に使用するソフトウェアアプリケーション。



EF600 および EF300 ストレージアレイでは、ミラーリング、シンボリック、SSD キャッシュの機能はサポートされません。

## SANtricity システムマネージャ

System Manager は Web ベースの管理ソフトウェアで、各コントローラに組み込まれています。ユーザインターフェイスにアクセスするには、ブラウザでコントローラの IP アドレスを指定します。セットアップウィザードを使用してシステムを設定できます。

System Manager には、次のようなさまざまな管理機能があります。



### パフォーマンス

I/O レイテンシ、IOPS、CPU 利用率、スループットなど、最大 30 日分のパフォーマンスデータを表示します。



### ストレージ

プールまたはボリュームグループを使用してストレージをプロビジョニングし、アプリケーションワークロードを作成



### データ保護

Snapshot、ボリュームコピー、リモートミラーリングを使用してバックアップやディザスタリカバリを実行できます。



### ハードウェア

コンポーネントのステータスを確認し、ホットスペアドライブの割り当てなど、コンポーネントに関連するいくつかの機能を実行します。



## アラート

ストレージアレイで発生する重要なイベントを管理者に通知します。アラートは E メール、SNMP トラップ、syslog を通じて送信できます。



## アクセス管理

ユーザ認証を設定し、ユーザがシステムにログインする際に割り当てられたクレデンシャルの入力を求めます。



## システム設定

SSD キャッシュや自動ロードバランシングなど、その他のシステムパフォーマンス機能を設定します。



## サポート

診断データを表示し、アップグレードを管理します。また、ストレージアレイの健全性を監視してテクニカルサポートに自動ディスパッチを送信する AutoSupport を設定します。

## SANtricity Unified Manager の略

Unified Manager は、ドメイン全体の管理に使用する Web ベースのソフトウェアです。EシリーズおよびEFシリーズの新しいすべてのアレイ（E4000、E2800、EF280、EF300、E5700、EF570、EF600、EF300C、EF600Cなど）のステータスをまとめて確認できます。選択したストレージアレイに対してバッチ処理を実行することもできます。

Unified Manager は、Web Services Proxy とともに管理サーバにインストールされます。Unified Manager にアクセスするには、ブラウザを開き、Web Services Proxy がインストールされているサーバの URL を入力します。

Unified Manager には、次のようなさまざまな管理機能があります。



### ストレージアレイの検出

組織のネットワークで管理対象のストレージアレイを検索および追加します。1つのページですべてのストレージアレイのステータスを確認できます。



### 発売開始

System Manager のインスタンスを開き、特定のストレージアレイについての管理操作を個別に実行します。



### 設定のインポート

アラート、AutoSupport、ディレクトリサービスなどの設定を1つのストレージアレイから複数のアレイに一括でインポートします。



### ミラーリング

2つのストレージアレイ間の非同期ミラーペアまたは同期ミラーペアを設定します。



### グループの管理

ストレージアレイを管理しやすくするためにグループにまとめます。



### アップグレードセンター

複数のストレージレイの SANtricity OS ソフトウェアをアップグレードします。



証明書

複数のストレージレイについて、証明書署名要求（CSR）の作成、証明書のインポート、既存の証明書の管理を行います。



アクセス管理

ユーザ認証を設定し、ユーザが Unified Manager にログインする際に割り当てられたクレデンシャルの入力を求めます。

## SANtricity Web Services Proxy の略

Web Services Proxy は RESTful API サーバで、数百台の新旧の E シリーズアレイを管理できます。Windows サーバまたは Linux サーバに別途インストールされます。

Web Services には、REST API と直接やり取りできる API ドキュメントが含まれています。Web Services API のドキュメントにアクセスするには、ブラウザを開き、Web Services Proxy がインストールされているサーバの URL を入力します。

## コマンドラインインターフェイス（CLI）

コマンドラインインターフェイス（CLI）は、ストレージアレイを設定および監視するためのソフトウェアアプリケーションです。CLI を使用すると、DOS の C : プロンプト、Linux のオペレーティングシステムパス、Solaris のオペレーティングシステムパスなど、オペレーティングシステムのプロンプトからコマンドを実行できます。

## E シリーズのデモビデオにアクセス

E シリーズシステムに関するデモビデオが用意されています。

### E シリーズ：高速、シンプル、信頼性に優れたストレージ

このビデオでは、NetApp E シリーズシステムを使用する主なメリットについて、汎用サーバをストレージに使用した場合と比較して紹介します。

["ネットアップのビデオ： Key benefits of using NetApp E-Series systems versus using commodity servers for storage"](#)

## **System Manager** : 簡単なセットアップと設定

このテクニカルデモでは、Web ベースの SANtricity System Manager インターフェイスを使用して、NetApp E2800 のセットアップと設定を簡単に行う方法を紹介します。

["ネットアップのビデオ : SANtricity System Manager : Easy Setup and Configuration"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。